

コーポレート

温室効果ガス削減目標で SBT ネットゼロ目標認定を取得

- 国際的なイニシアティブ SBTi が TDK の温室効果ガス削減目標を科学的根拠に基づいた目標設定であると認定
- 直接排出だけでなく、サプライチェーン全体を含めた目標設定
- 2050 年までに排出量をネットゼロとすることを見据えた長期目標

2025 年 3 月 13 日

TDK 株式会社（社長：齋藤 昇）は、温室効果ガス（以下、GHG）排出量のネットゼロ目標を策定し、これらの目標が、パリ協定に準じて「世界の気温上昇を産業革命前より 1.5°C に抑えることを目指す」ための科学的な根拠に基づく長期目標であるとして、国際的イニシアティブ「SBTi (Science Based Targets initiative)」による SBT 認定を取得したことを発表します。(2025 年 2 月 3 日に認定取得)

認定された TDK のネットゼロ目標（長期）は以下です。

ターゲット 1: Scope1、Scope2 の GHG 排出量を 2050 年度までに 2021 年度（基準年）比で 90%削減

ターゲット 2: Scope3 の GHG 排出量を 2050 年度までに 2021 年度（基準年）比で 90%削減

これらのネットゼロ目標は、2024 年 6 月度に同団体から認証を受けた[中期目標](#)を踏まえたものです。

ネットゼロ目標を達成するための活動の一環として、従来より再生可能エネルギーの導入を推進しています。

2023 年 7 月より、国内すべての生産開発拠点において再生可能エネルギー由来の電力 100%で操業を開始し、グループ全体で 2025 年度までに再生可能エネルギー導入を 50%にするという目標を 2023 年度に 2 年前倒しで達成しました。2050 年度に向けて引き続き、グループ全体で使用電力の 100%を再生可能エネルギーに転換することを目指します。

今回の SBT 認定取得を契機として、当社における GHG 排出量の更なる削減を目指すとともに、サプライヤーにも GHG 排出量の削減目標設定を促すことで、サプライチェーン全体で GHG 排出量を削減し、持続可能な社会の発展に寄与してまいります。

用語集

- SBTi (Science Based Targets initiative):

CDP、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）の 4 団体が共同で 2015 年に設立し、科学的根拠に基づく目標設定のベストプラクティスを定義・推進し、企業の目標を独自に評価する国際的イニシアティブ。<https://sciencebasedtargets.org/>

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、スマート社会における電子デバイスソリューションのリーディングカンパニーを目指しています。独自の磁性素材技術をその DNA とし、最先端の技術革新で未来を引き寄せ（Attracting Tomorrow）、社会の変革に貢献してまいります。

当社は各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。主力製品は、積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、ピエゾおよび保護部品等の各種受動部品をはじめ、温度、圧力、磁気、MEMS センサなどのセンサおよびセンサシステムがあります。さらに、磁気ヘッドや電源、二次電池などです。これらの製品ブランドとしては、TDK、EPCOS、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda があります。

アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、自動車、産業電子機器、コンシューマー製品、そして情報通信機器など幅広い分野においてビジネスを展開しています。2024 年 3 月期の売上は約 2 兆 1,030 億円、従業員総数は全世界で約 101,000 人です。

本文および関連する画像は https://www.tdk.com/ja/news_center/press/20250313_01.html からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
伊藤	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6778-1055	TDK.PR@tdk.com